

2025年度事業計画—実行計画は別途作成—

江戸城全体整備計画の策定及び本丸御殿の復元を目指す

「世界遺産を目指す江戸城再生」

2021年より東京都や8区及び関連行政に対し近未来の世界遺産を目指す「提言書 VISION 2032」の普及啓発、及び提言活動を進めてきた。江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり、即ち、「提言書 VISION 2032」に明示した課題を取り巻く環境は、この一年、大きく変わりつつある。

文化財保護法改訂から6年、文化財保護法の中核である①「大綱」の策定に向けて、漸く東京都は取組を開始した。

亦、江戸城址は世界遺産に匹敵するといわれて久しいが、2024年度東京都中長期計画では、遂に②「世界遺産登録を目指す」ことを明示した。

日本最大の城郭都市であった江戸東京の歴史や文化は、明治以降、特に高度成長期を経て都市の再開発が進み、現在に至るまで忘れ去れようとしていた。上記①②二つの課題は江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくりにとって極めて重要な必須課題であり、先ずは、画期的な一步を踏み出したといえよう。

以上の背景から、「世界遺産を目指す江戸城再生」の推進力を拡充する為にも当法人の果たすべき使命・アクションの在り方について再検証を行う必要がある。

I. 調査・研究活動

1. 「提言書 VISION 2032」等の検証

前述の背景から「提言書 VISION 2032」の検証を進めると共に調査研究及び普及・啓発、提言活動の在り方を検証し、新たなステージの構築を図る。

2. 歴史文化資源プラットフォームの充実

江戸東京の歴史建造物群の整備が主体の江戸城全体整備構想とは、表裏一体にある有形無形の歴史文化資源及びそれらに関与する人々や多様な主体の活動情報を収集する。

2021年調査研究により 600 近くの歴史建造物から抜粋して2022年より、順次、ホームページに掲載してきた。今後はプラットフォーム仕組みづくりの検討を視野に入れて、史跡、祭り、年中行事、伝統文化・芸能等、できるところから順次情報収集を進める。

II. 普及・啓発活動

「世界遺産を目指す江戸城再生」に関連するテーマにより、セミナーを開催、その成果を会報誌やホームページ等を通し広く一般社会に公開する。なお、会場予約の可否等により開催日テーマ、講師等の変更が想定されことから実施にあたり確定情報はホームページに掲載する。

1. 講演・セミナー

- ・場所（通年）：日比谷図書文化館（予定）
- ・対象者と参加費：会員及び一般市民、参加費：2000円～3000円
- ・市民、学生等無償先着5名迄
- ・テーマ
 - 7月：世界遺産の現状
 - 8月：世界遺産の登録迄の概要
 - 9月：江戸城本丸御殿の意匠及びその価値
 - 10月：世界遺産と江戸城
 - 11月：提言活動
 - その他

2. 会報誌等発刊及びリーフレット作成（年3回前後）

III. 提言活動

「提言書 VISION 2032」等の検証を踏まえて行政及び民間（営利・非営利）の法人及び団体及び有識者等に対し、適時、コミュニケーションを図り・提言活動を推進する。

IV. その他

以 上